

経営法務実務 基礎から完成させるM&Aの実務(上巻)

CONTENTS(上巻)

(上巻より)

P.1 – 第1回 M & A総論 M & Aのスキーム

- P. 9 – M & A の定義、実施する理由及び戦略
- P. 20 – M & A のプロセス
- P. 54 – M & A の成功要因とリスク
- P. 62 – M & A スキームの概要
- P. 74 – M & A スキームに伴う論点

P.115 – 第2回 企業価値評価

- P.119 – 事例問題演習 (総論/スキーム)
※別紙「第2回 事例問題演習」を使用
- P.120 – 企業価値評価の概要
- P.129 – 企業評価価値アプローチの紹介
- P.141 – 企業価値評価手法の説明～DCF法～

P.187 – 第3回 企業価値評価

- P.193 – 事例問題演習 (企業価値評価)
※別紙「第3回 演習問題 ～市場株価法～算定例題」を使用
- P.194 – 企業価値評価手法の説明～市場株価法～
- P.207 – 企業価値評価手法の説明～類似会社比較法～
- P.225 – 企業価値評価手法の説明～純資産法～
- P.236 – プロジェクションについて
- P.240 – シナジー効果とその測定

(下巻へ続く)

※「目次」のページ数は、右下端に、全ページに連続して付してあります。
これとは別に各頁中央下端に各回ごとに「スライドNo.」が付してあります。
各回の講義では、この「スライドNo.」を使って、説明しています。
※ページ数は、(上巻) (下巻) を通してのページ数です。

CONTENTS(下巻)

(下巻)

P.255－第4回 企業価値評価

P.257－DCF法の復習

P.273－類似会社比較法の復習

P.281－シナジー効果の復習

P.288－演習問題解説

※別紙「第4回 演習問題」を使用

P.327－第5回 デューデリジェンスの実施

P.331－デューデリジェンスの概要

P.337－デューデリジェンスの流れ～計画策定～

P.347－デューデリジェンスの流れ～実施～

P.355－デューデリジェンスの流れ～検出事項への対応～

P.363－各種デューデリジェンスの内容及び留意事項

P.407－第6回 企業価値評価

P.411－基本合意

P.423－最終契約

P.448－公表

P.451－クロージング

P.456－演習問題

※別紙「第6回 演習問題」を使用

※「目次」のページ数は、右下端に、全ページに連続して付してあります。
これとは別に各頁中央下端に毎回ごとに「スライドNo.」が付してあります。
各回の講義では、この「スライドNo.」を使って、説明しています。

■本テキストの内容及び関係法令書類につきましては、令和2年4月1日現在の施行法令等（令和2年度法令準拠）に基づき作成しております。

基礎から完成させるM&Aの実務 第1回



accree Inc.

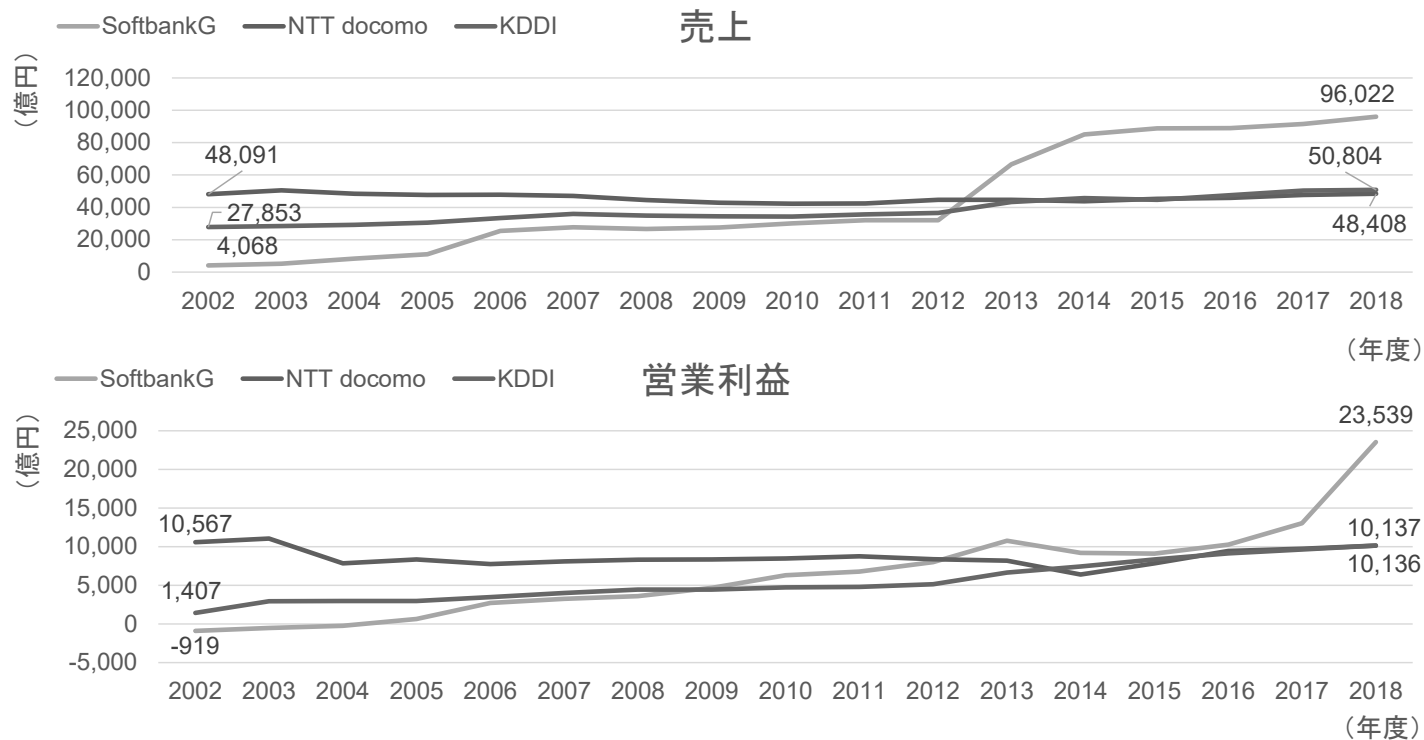
株式会社アクリア

公認会計士
税理士

平石 智紀

なぜM&Aするのか

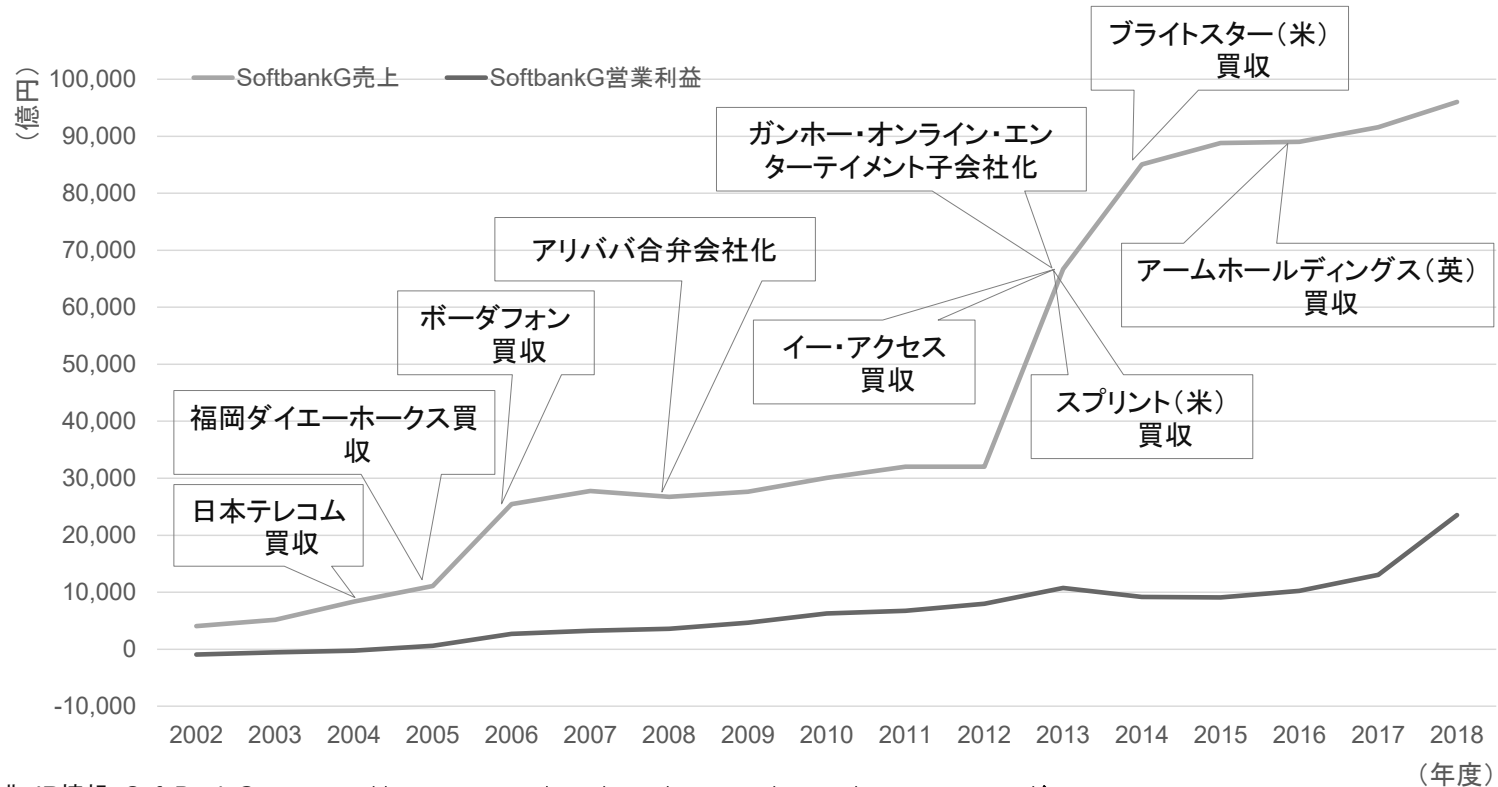
■なぜソフトバンクグループはこのように急激に経営成績が伸び、巨大な企業へと成長することができたのだろうか？



(出典: IR情報 Soft Bank Group https://group.softbank/corp/ir/info/financials/results/business_results/ NTT docomo <https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/ir/finance/highlight/> KDDI <https://www.kddi.com/corporate/ir/finance/highlight/>)

なぜM&Aするのか～ソフトバンクグループ成長の背景～

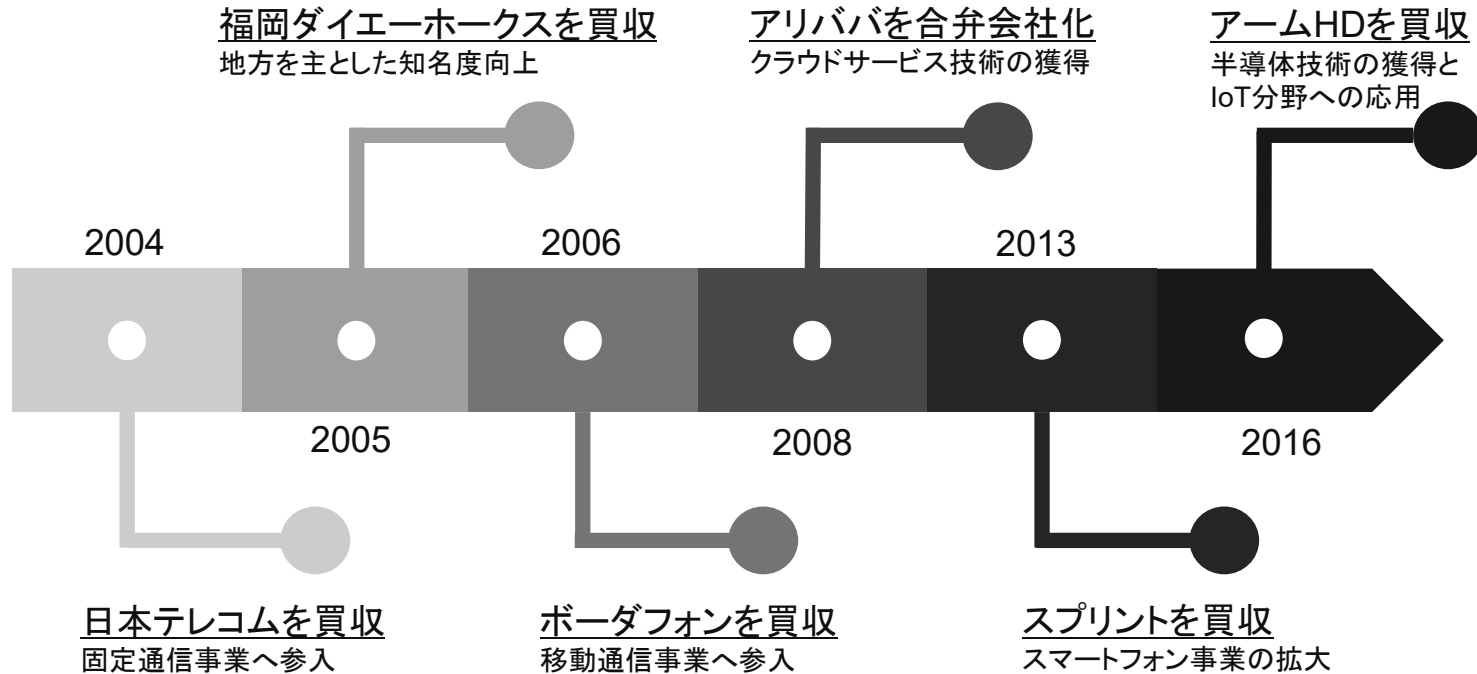
■ 背景には、M&Aを活用しながら事業領域を拡大し、売上規模の拡大とともに収益を高めていったと考えられる。



(出典: IR情報 Soft Bank Group https://group.softbank/corp/irinfo/financials/results/business_results/)

なぜM&Aするのか～ソフトバンクグループの狙い～

- ソフトバンクグループのM&A戦略の特徴は、「情報革命」というキーワードを軸に、通信事業からゲームや半導体など、幅広い領域においてM&Aを実施していることにある。



- 第1回講義の内容ご紹介

第1回講義

- ✓M&Aの定義、実施する理由及び戦略
- ✓M&Aのプロセス
- ✓M&Aの成功要因とリスク
- ✓M&Aスキームの概要
- ✓M&Aスキームに伴う論点

研修各回の内容

- 当研修では、M&Aの実施プロセスに沿って各論を説明していく形で進めていく。

研修回数	テーマ*1	内容*1
第1回	M&A総論 M&Aのスキーム	<ul style="list-style-type: none"> ➢ M&Aの定義 ➢ M&Aのプロセス ➢ M&Aのスキーム ➢ M&Aスキームに伴う規制
第2回	企業価値評価	<ul style="list-style-type: none"> ➢ スキームの演習問題
第3回		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 企業価値評価関連の用語定義 ➢ 企業価値評価を実施する上での考え方 ➢ 企業価値評価実施時の検討プロセス
第4回		<ul style="list-style-type: none"> ➢ 演習問題
第5回	デューデリジェンスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 各種デューデリジェンスの内容及び特徴 ➢ 各種デューデリジェンス実施時のポイント
第6回	M&Aにおける取引・契約上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ➢ M&A手続き中における手続き上の注意点 ➢ 基本合意書における注意事項 ➢ 最終契約書における注意事項

*1:各回におけるテーマと内容は変更となる可能性があるのでご注意ください。

M&A実施プロセスからみた各回の取り扱い内容

- 第1回目は、総論としてのM&A全体像及びスキームを取り扱う。

	買収案の 検討	初期交渉	デューデリ ジェンス	クロー ジング	経営統合
第1回 総論/スキーム	○	○	○	○	○
第2回 企業価値評価 <small>(※企業価値評価のみ)</small>	○		○ <small>(※企業価値評価のみ)</small>		
第3回 企業価値評価 <small>(※企業価値評価のみ)</small>	○		○ <small>(※企業価値評価のみ)</small>		
第4回 企業価値評価 <small>(※企業価値評価のみ)</small>	○		○ <small>(※企業価値評価のみ)</small>		
第5回 デューデリジェンス			○		
第6回 契約のポイント	○			○	

第1回研修の目的及び内容

- 第1回目の前半は、「M&Aとは何か」を理解しながら、M&Aの全体像を掴んでいくことを目的とする。

目的

- M&Aの全体像を掴み、「M&Aとは何か？」という問いに対して回答できるようにする
- 企業がM&Aを実施する理由を理解する
- M&Aのプロセスを理解するとともに、「買い手として知っておくべきこと」を把握する

内容

- M&Aの定義及び市場動向
- M&Aを実施する理由及び戦略
- M&Aのプロセス
- M&Aの成功要因とリスク

■ M&Aとは企業間同士の合併及び買収、広義では資本提携も含めた組織再編行為のことを指す。

